

# 第1回建設部会 報告

日 時：2025年4月23日（水）13：30～15：00

場 所：秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者：部会員31名

懇 談：「県・市の建設に係る重点施策について」

秋田県建設部 部長 小野 潔 氏

秋田市建設部 次長 有坂 昇 氏

協 議：2025年度部会活動計画(案)





- 建設部関連の令和7年度予算は約769億円。(R6補正含)
- 入札不良発生率の推移では、令和5年度が14.2%と高い割合だったのに対し、昨年度は13.2%と入札不調の傾向が落ち着いた。今後の不調対策を講じ、必要に応じて対応していく。
- 国土交通省では、生産年齢人口が2割減少することが予測されている2040年度までに、少なくとも省人化3割（1.5倍の生産性向上）の目標を掲げている。一方で、インフラの老朽化のペースをみると、生産性向上が図られたとしても建設業従事者一人当たりの作業量は非常に増加することが見込まれる。
- 作業量の増加は、全国平均でさえ厳しい水準であり、本県はさらに厳しい状況にある。これに対応するため、担い手確保対策には今後も積極的に取り組んでいきたい。



- 建設部関係の令和7年度予算は78.7億円。
- 予算には建築関連（ハコもの）の事業も継続している。新市長の意向により、ハード事業の検証をするよう指示を受けているが、秋田市の厳しい財政事情のなかで出来る出来ないという取捨選択が必要という趣旨だと理解しており、継続事業を含め何から何までやめるといった意味合いではないと感じている。
- 除排雪関係費では、令和5年度から3年間にわたる試験的な取組みとして、10cm以上の積雪があった場合は、圧雪とならないよう除雪している。今年度は節目の3年目となり、効果や課題の検証を行いながら、将来にわたって持続可能な排雪対策の構築を図っていく。
- 週休二日制モデル工事については、開始された令和2年度が7.1%であったの対し、昨年度は43.8%まで伸びている。今年度から、市で発注する土木工事は原則的に全ての工事が発注者指定型の「週休二日工事」となるので、協力をお願いしたい。